

(独)水産総合研究センター西海区水産研究所の業務及び実績

1 西海区水産研究所の業務(15年度)

業務内容：東シナ海域(東シナ海・黄海、九州西岸(有明海を含む)・北岸、日本海西部)における水産資源及び水産海洋環境ならびに増養殖等に関する試験、研究、調査を行う。

組織：所長(1)・企画連絡室(3)・総務部(9)・3研究部(30)・石垣支所(22) 陽光丸(24) / 合計89名

予算：5億5千万円

研究内容：31研究課題(一般研究16課題、プロジェクト研究15課題)

受託事業：13事業(水産庁10事業、交付金2事業、その他1事業)

主な業務：

社会的ニーズの高い課題への対応(有明海問題)

地域との連携：西海ブロック試験研究推進会議、県水産試験場等との共同研究11件、プロジェクト研究(有明生物等)、連携大学院(長崎大学：教授4名、助教授2名)

亜熱帯地域の生態系の保全と水産業の振興

行政施策への貢献：あじ・さば・いわし等の資源調査と評価(TAC / ABC)

国際対応：日中(日韓)漁業共同委員会専門家小委員会、日中農業科学技術交流計画、日韓中海洋生物資源シンポジウム等

評価：

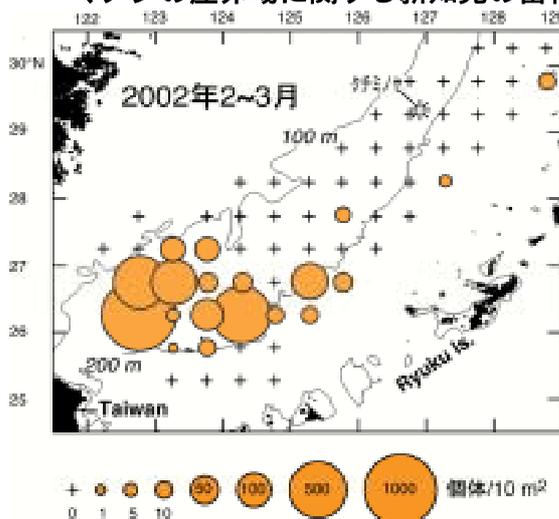
西海区水産研究所機関評価会議(15年3月12日、総合評価A)

西海区水産研究所研究評価部会(15年1月21-24日、33研究課題評価を実施) 評価S(4課題) A(28課題) B(1課題) C(0課題)

研究業績評価(全研究職員に試行、15年3月)

2 平成14年度の主な実績

マアジの産卵場に関する新知見の蓄積



1) 技会プロ研[フロンティア]

「海洋生物資源の変動要因の解明と高精度変動予測技術の開発」等で実施。

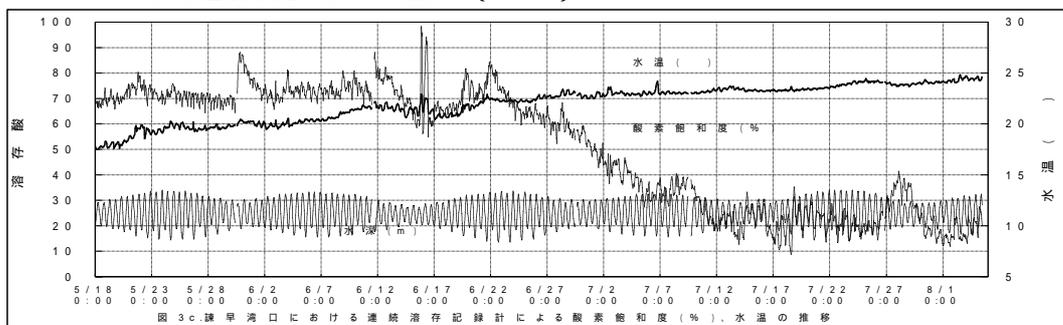
2) 東シナ海の主な産卵場が黒潮源流域に存在することを解明。

3) 体長3mm以下の仔魚の採集数千個体は世界で初めて。重要産卵場が東シナ海南部海域に形成されていることが判明しつつある。

2002年2～3月の東シナ海中・南部海域におけるマアジ仔魚(体長3mm以下)の水平分布(調査地点数:112点)

有明海問題への対応

- 1) 行政対応特別研究「有明生物」(平成13～15年度、7,000万円)
主査場所として研究をリードし、5課題を担当。貧酸素水塊、懸濁粒子、底生生物等において成果を挙げている。
- 2) 第三者委員会
事前検討会、第9回、第10回委員会に出席し、研究成果を説明。
- 3) 専門委員会
「有明生物」専門委員会で14年度の成果と今後の研究計画について報告。
- 4) 有明4県試験研究機関との連携
「有明生物」での共同調査を実施。
4県試験研究機関の調査による赤潮、環境データを集約し、西海水研ホームページで発信。
- 5) 調査結果等の公表
プレスリリース、有明海調査ニュース、赤潮情報、海況情報(上記4)、学会活動。
- 6) その他
有明海関連委員会等委員への応嘱(5件)
有明海関連委員会等への出席(25回)



諫早湾口における酸素飽和度(%)、水温の推移

3 新庁舎移転

13年度及び14年度補正予算(総額39億円)で長崎市多以良町に建設。
15年7月1日より新庁舎で実務開始。



本館本部棟、本館研究棟、大会議室、飼育実験棟、測定・標本棟、海洋・漁業調査資材庫、油等保管庫、物品保管庫、車庫、屋外飼育施設、廃水処理施設

参考：平成15年度研究課題一覧

課 題 名	期 間	予 算
【プロジェクト名：東シナ海漁業資源】		
マアジ稚仔魚の対馬暖流域、太平洋側への配分割合と年変動	H14-16	技会プロ
東シナ海におけるマアジ稚仔魚の餌料環境	H15-16	技会プロ
東シナ海陸棚縁辺部における流動の細部構造	H14-16	技会プロ
【プロジェクト名：有明生物】		
プランクトン生産と環境変動特性の把握	H13-15	技会プロ
二枚貝生産に影響を及ぼす貧酸素水塊の分布特性の把握	H14-15	技会プロ
懸濁粒子の分布特性の把握	H14-15	技会プロ
二枚貝類の漁獲量変動過程の解析とその検証	H13-15	技会プロ
二枚貝等の生産阻害機構の解明と生産回復手法の開発	H13-15	技会プロ
【プロジェクト名：地球温暖化】		
対馬暖流域における低次生態系モデリング	H14-16	技会プロ)
温暖化が藻場に及ぼす影響の評価と予測技術の開発	H14-16	技会プロ
【プロジェクト名：陸域由来環境負荷】		
長江河口・東シナ海陸棚域へ供給される環境負荷物質の輸送に関する研究	H14-16	環境省プロ
【プロジェクト名：サンゴ礁保全地域・修復】		
保存すべきサンゴ礁生物多様性の探索	H15-17	環境省プロ
有性生殖を利用した造礁サンゴ群集の大規模修復・造成技術の開発	H15-17	環境省プロ
【交付金】		
重要資源の現存量推定値の精度評価とマアジの個体群動態モデルの作成	H13-17	一般研究(交付金)
九州西岸におけるカタクチイワシ春生まれ群加入機構の把握	H13-17	一般研究(交付金)
底生魚類相の分布構造解析と重要底魚類の着底・成育場の把握	H13-17	一般研究(交付金)
カレイ類・ケンサキイカ等の主要底魚資源の成長・成熟等の解明と主要フグ類の分布・回遊生態の解明	H13-17	一般研究(交付金)
九州南西海域における流動構造とその変動特性	H13-17	一般研究(交付金)
九州西方海域における一次生産の季節変動特性と海洋環境要因の解明	H13-17	一般研究(交付金)
植物プランクトンの分布と海洋構造との関連把握	H13-17	一般研究(交付金)
九州西方海域における生産構造の細部特性と動物プランクトン生産量の把握	H13-17	一般研究(交付金)
暖流系アワビの初期生活史における分布構造の解明	H13-15	交付金プロ
岩礁域の海藻類及び有用植食動物年変動実態調査手法の確立	H13-17	一般研究(交付金)
イセエビの資源の減少要因の解明と標準的加入量モニタリング手法の開発	H13-17	一般研究(交付金)
二枚貝主要種の生理状態と環境要因との係わりの把握	H13-17	一般研究(交付金)
南西諸島周辺海域産フエフキダイ類の資源構造の把握	H13-17	一般研究(交付金)
南西諸島周辺海域におけるマグロ類、サメ類の移動・回遊等の解明	H13-17	一般研究(交付金)
クルマエビの親エビ育成システムの開発	H13-15	交付金プロ
マングローブ域におけるノコギリガザミ類放流調査手法の開発	H13-17	一般研究(交付金)
亜熱帯河口域における動物プランクトンの生態特性の解明	H13-17	一般研究(交付金)
サンゴ礁池内の堆積物が生物群集に与える影響の解明	H13-17	一般研究(交付金)